**福島県スキー連盟競技本部クロスカントリー部**

**新型コロナウイルス感染対策クロスカントリー競技会（ローラースキー大会）ガイドライン**

1. 本協議会は無観客とします。競技場に入場できるのは、大会役員、報道関係者、監督、選手です。

2　受付について

検温、体調管理チェックシートを提出し、監督(ビブス３枚)を発行

3　競技場内への入場、退場について

コース内への入場は100mスタート地点後方ゲートのみとします。

選手はゼッケンを、監督も提示して入場してください。

アップ等で一度競技場から出て再入場する際も提示を求めます。

I.競技者

①競技会 1週間前から検温をし、体調管理チェック表に記入し、受付時に提出する。

提出しない競技者は、出場不可となる場合もある。

\*以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

・体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、

地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②運動時以外(レース、アップ、ダウン等)のマスク着用(熱中症に注意)、競技終了後の手

洗い・洗顔を徹底する。

③3密回避行動を心掛ける。

④ウォーミングアップ、クールダウンは、個別に行う。

⑤運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。

⑥体液の付着したゴミは自己責任で処理する。(基本的に持ち帰り)

⑦競技会終了後、2週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

II. チーム関係者(感染拡大状況により変更有)

\*以下の事項に該当する場合は、自主的に観戦を見合わせること。

・体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、

地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

①マスク着用(熱中症に注意)、手洗い・洗顔を徹底する。

②3密回避行動を心掛ける。

③ 声を出しての応援、集団での応援を控える。

④競技者に付き添う場合の競技者との接触、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意する。

⑤混雑を回避するため、競技者に付き添う者のウォームアップ場への立ち入りを最小限にする。

⑥競技会終了後、2週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

Ⅲ.報道関係者

①取材時はマスクを着用する。

②開催1週間前の体調管理・検温の義務と体調管理チェック表の提出、及び終了後2週間の体調管理・検温を行う。

③会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心掛ける。

④取材人数・取材方法・取材エリアを順守する。

⑤競技会終了後、2週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には最寄りの保健かりつけ医、帰国者・接触者センター等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

上記の内容について、ご協力いただけない場合には大会主催者が参加を断ることができる。